

報道関係者各位

■ YCC ヨコハマ創造都市センターよりお知らせ ■

- ・ YCC Temporary ダムタイプ 開催

YCC Temporary ダムタイプ 開催



YCC ヨコハマ創造都市センターでは、アートプログラム「YCC Temporary」の第6弾として、また同時期に横浜で開催される Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 の関連プログラムとして、2018年9月7日(金)～9日(日)の間、国際的に評価の高いアーティストグループ「ダムタイプ」による、過去パフォーマンス作品「pH」および「S/N」の記録映像スクリーニングを開催します。また、9月8日「S/N」上映後には、高谷史郎らダムタイプメンバーに加え、1994年、神奈川芸術フェスティバルでの「S/N」公演時のプロデューサーを務められた佐藤まいみ氏をゲストにお迎えし、トークイベントも開催いたします。

ダムタイプは、1984年に京都市立芸術大学の学生を中心に結成されて以来、作品毎に参加メンバーを変化させながら、映像、音楽、ダンスなどあらゆる分野を横断する作品を国内外で発表してきました。今回のスクリーニングでは、ダムタイプのパフォーマンス作品の中から、1990年に初演され、ダムタイプが世界に広く知られるきっかけとなった、消費社会をテーマとした「pH」(1990-95年)と、人種・国籍・性など、社会が直面している問題をテーマにした「S/N」(1994-96年)の記録映像を、1階ギャラリーにて上映いたします。なお、「S/N」の上映では、公演当時両作品の音楽を担当した山中透によるライブサウンド・オペレーション(記録映像とライブ音源を同調させ上映)にて実施します。

日本国内だけでなく、世界中の多くの人々に影響を与えたダムタイプによるパフォーマンスの記録を是非ご鑑賞ください。

<開催概要>

YCC Temporary ダムタイプ

日程: 2018年9月7日(金)～9日(日)

時間: 9/7(金) 18:00-(pH) / 20:00-(S/N)
9/8(土) 15:30-(pH) / 17:30-(S/N)
9/9(日) 15:30-(pH) / 17:30-(S/N)

※上映時間「pH」68分、「S/N」68分
※各回入れ替え制、開場は上映30分前

会場: YCC ヨコハマ創造都市センター 1階ギャラリー

料金: 前売券 1,500円 当日券 1,800円(全席自由)

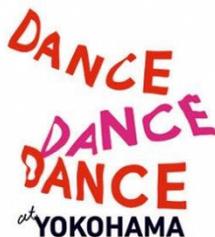
※一作品の上映鑑賞につき、それぞれ料金が発生します。
※18歳未満の方は入場できません。
※当日券は会場での販売のみとなります。なお、前売券販売により定員に達した場合は、その上映回の当日券販売は行いませんのでご了承ください。残席状況は下記特設サイト、YCCの公式SNS等にて随時お知らせいたします。

定員: 各回50名

前売券販売: Peatix <https://yct06.peatix.com/>
※定員に達し次第、販売受付を終了します。

特設サイト:<http://yokohamacc.org/yct/dumbtype/>

主催: YCC ヨコハマ創造都市センター(特定非営利活動法人 YCC)
共催: 横浜アーツフェスティバル実行委員会(Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018)
後援: 横浜市文化観光局
協力: ダムタイプオフィス
機材協力:株式会社サンテクニカル
企画: 長田哲征(YCC / off society inc.)
DM デザイン:加藤賢策(LABORATORIES)



<アーティスト>

お問合せ: YCC ヨコハマ創造都市センター (特定非営利活動法人 YCC)
〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1
TEL 045-307-5305 FAX 045-307-5322
MAIL press@yokohamacc.org / URL <http://yokohamacc.org>

ダムタイプ Dumb Type

1984年に結成。ヴィジュアル・アート、映像、コンピューター・プログラム、音楽、ダンスなど、様々な分野の複数のアーティストによって構成される。京都を活動の拠点とし、プロジェクト毎に参加メンバーが変化して制作される作品は、既成のジャンルにとらわれない、あらゆる表現の形態を横断するマルチメディア・アートとして国内外で発表されている。

また、海外のアーティストとのコラボレーションも積極的に行い、デンマークのホテル・プロ・フォルマとの共同制作(1987、1992)、アメリカの建築家エリザベス・ディラー & リカルド・スコフィディオとホテル・プロ・フォルマとの共同制作パフォーマンス作品《モンキー・ビジネス・クラス》のヨーロッパ3都市での上演(1996)や、ベルリン世界文化館で開催された展覧会「Translated Acts - Performance and Body Art from East Asia」展(2001)では、現地ベルリンのダンサー7名と共同で振付を創作し、ダムタイプのインスタレーション作品にライブ・パフォーマンスを組み合わせた作品を発表するなど、幅広い活動を行っている。

近年の活動として、2018年1月20日から5月14日までポンピドゥー・センター・メッス(フランス)で個展「DUMB TYPE: ACTIONS + REFLEXIONS」が開催された。

<関連トークイベント>

YCC Temporary ダムタイプ アーティストトーク

「YCC Temporaryダムタイプ」の開催に合わせ、今回の上映作品でもある「pH」と「S/N」の公演時、ダムタイプのプロジェクト・メンバーとして参加された4名のメンバーと、ゲストスピーカーとして1994年の神奈川芸術フェスティバルでの「S/N」公演プロデューサーを務めた佐藤まいみ氏をお迎えし座談会形式のトークイベントを開催します。

「pH」や「S/N」を公演していた90年代当時のダムタイプの活動を振り返りつつ、公演の裏舞台から両作品でテーマにしていた社会問題の現代における解釈まで、様々な視点でお話しを伺います。

日時： 2018年9月8日(土)19:30～21:00(開場19:00)

登壇者： 山中透、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、砂山典子、高谷史郎、佐藤まいみ

会場： YCC ヨコハマ創造都市センター 1階ギャラリー

料金： 1,000円(全席自由)

定員： 60名

チケット販売： Peatix <https://yct06.peatix.com/>

※定員に達し次第、販売受付を終了します

<登壇者>



山中透(やまなか とおる)

学生時代、京都を中心に実験音楽系のフィールドで活動しダムタイプの立ち上げに参加。創世記のメンバーとして、音楽と音響を担当。1989年よりクラブイベント「DIAMONDS ARE FOREVER」をシモーヌ深雪、故グローリアスと共にプロデュースし、世界各地のクラブで開催する。近年の主な音楽監督の履歴としては、アジアを代表する演出家オン・ケンセンのカンパニー「シアターワークス」を軸に、アートからダンス/パフォーマンスまで多岐に渡る。自身で立ち上げた foil-records の作品として、舞台音楽のリミックス作品集「Sextant」(2012)などがある。



Photo: Tomoaki Hayakawa

ブブ・ド・ラ・マドレーヌ

1961年大阪生まれ。京都市立芸術大学美術学部美術科構想設計専攻卒業。ダムタイプのパフォーマンス《S/N》(1994-96)に出演。その後、国内外のアーティストとの共同またはソロでパフォーマンス、映像、テキスト等による作品を発表。同時にHIV/AIDSと共に生きる人やセックスワーカー、女性、セクシュアルマイノリティ等の健康と人権に関する市民運動に携わる。最近の寄稿に「たたかう LGBT&アート」(法律文化社、2016)、主な展示等に「セックスと消費主義展」(ブライトン大学、2001)、「水図プロジェクト」(別府・京都、2010-12)がある。



砂山典子(すなやま のりこ)

横浜生まれ。ダンサー、パフォーマンスアーティスト。黒沢美香 & ダンサーズを経て、90年から20年間ダムタイプのパフォーマー。並行してOK GIRLS など、ユニットでのパフォーマンスを行う。ソロワーク代表作に「むせかえる世界」がある。C.Snatch Z. (スナッチ)名義で、コンテンポラリーアート・ダンスとエンターテインメントを横断的に活動中。女子美術大学芸術学部アート・デザイン表現学科非常勤講師。



高谷史郎(たかたに しろう)

1984年から「ダムタイプ」の活動に参加。様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館、アートセンター等で公演/展示を行う。今年1月から5月にかけてフランスのポンピドゥーセンター・メッセにてダムタイプ初の大規模個展。1998年からダムタイプの活動と並行して個人の制作活動を開始。国内外での公演や個展等多数行う。また、1999年のオペラ《LIFE》以来、坂本龍一との共同制作も数多く、現在ソウルのアートセンターpiknicにてインスタレーションおよび最新 Blu-ray 作品を展示中(10月14日まで)。

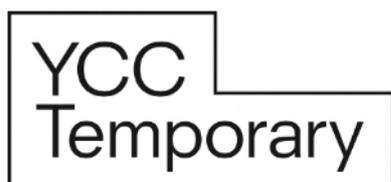


©宮川舞子

佐藤まいみ(さとう まいみ)

1980年代にフランスで現代ダンスや演劇公演の制作を手掛ける。帰国後、横浜市開港130周年記念「ヨコハマアート・ウェーブ'89」アーティストティック・ディレクターに就任。その後、神奈川国際舞台芸術フェスティバル/プロデューサー、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012 および 2015 のディレクターを歴任。2006年より彩の国さいたま芸術劇場プロデューサーとしてダンスプログラムの企画制作にあたる。

<YCC Temporary とは>



YCC Temporary

2017年4月よりスタートしたYCCによる自主企画アートプログラムシリーズ。毎回「一組のアーティスト」に限定した個展形式で現代のアーティストに焦点を当てた美術展覧会等を開催。

<http://yokohamacc.org/yct/>